

シャンティ山口 ニュースレター

第50号

発行：2006年6月23日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.kvision.ne.jp/~shanti/>

～シャンティ山口 2006 年度スタート～

今年度の役員・事業計画・収支予算・行事予定を公開します。

役員

シャンティ山口役員名簿

任期：2005年5月28日～2007年4月30日

役職名	氏名
顧問	荒木 茂樹
顧問	有馬 周子
代表・理事	角 直彦
副代表・理事	河谷 正也
事務局長・理事	佐伯 昭夫
理事	水野 一忠
理事	大野 洋子
理事	神本 和明
理事	藤田 和彦
理事	兼富 洋子
理事	末益 泰輝
理事	安藤 公門
監事	高木 辰紀
監事	梅田 実

引き続きよろしくお願いたします。

事業計画

平成18年度 非営利活動法人 シャンティ山口 事業計画書

シャンティ山口は、世界の貧困と抑圧にあえぐ草の根の民衆を支援し、全ての民族と共に学び、共に生きるような地球市民社会の構築に参画し、地域の国際化と地球市民教育を行うため次の事業を展開します。

{会議}

- 1 総会 1回開催予定
- 2 理事会 2～3回開催予定
- 3 監事会 1回開催予定

{山岳民族教育支援事業}

- 1 山岳民族奨学金支給事業（パヤオ奨学金）

山岳少数民族の子供達が、中学校・高等学校に進学するための奨学金を支給します。

(中学生 25人/高校生 25人/合計 50人)

2 シャンティ学生寮運営事業

北タイのパヤオ県ボンにある「シャンティ学生寮」の運営を行います。

(中学生 25人/高校生 25人/合計 50人)

{山岳民族生活自立支援事業}

北タイに住む山岳少数民族モン族やミエン族は、焼畑農業を禁止され耕作地が充分に与えられない等、収入がタイ族の半分以下の状態で、しかもタイ族と言語が異なるという問題によって、貧困に苦しんでいます。

シャンティ山口では、山岳少数民族の伝統文化の継承と高齢者福祉及び女性の自立を図るため、伝統芸能の継承やハンディクラフトの製作及び日本国内での販売、保健衛生知識の普及等を通して、山岳少数民族の自立支援を行います。

1 手工芸品による女性グループ自立支援事業

伝統的な刺繍やパッチワークなどを使った手工芸品作る村の女性グループを支援します。

2 高齢者福祉支援・伝統文化継承事業

伝統文化を次世代の青年達に継承していくための活動を行います。

3 保育園支援事業

セーンサイ村の保育園の行事費・施設の補修費等支援します。

{人材育成事業}

シャンティ山口は、12年間に亘り奨学金の援助、学生寮運営事業を行ってきた中、近年のタイにおける貨幣経済による生活の向上は著しく、貧困にあえぎ、とりのこされた山岳民族にとっては、学校を卒業しても地域での就職は困難で、ほとんどがバンコクなどの都会に出ているのが現状です。

そこで、これらの現状をふまえ、将来地域に定着し、巣立った子ども達が、奨学生や、この寮を支えていけるような、子ども達による起業の支援と共に職場の確保も念頭に置いた後継者育成プログラムを計画します。

1 地域生活環境モデル事業

シャンティ学生寮では、従前から、寮生の家族の負担軽減対策として付近の住民からのご厚意によりの水田畑を無償で借用頂き、米・ニンニク・野菜・等、寮生による日常の食料の生産を継続しています。

近年シャンティ山口の支援者による耕作地の寄贈もあり半年分の食料が自給できるようになりました。

さらに、養豚・養鶏・養魚と敷地内を有効活用しての生産も順調で鶏卵、鶏肉は、付近の商店からの注文も多く販売収益は、寮費の一部に充当するなど、安定した現金収入の基となっています。

最近、これらの施設が老朽化し、全面改築の必要が生じたため、これを機会に養鶏・養豚・養魚・米・野菜・果樹などの複合農業の施設改善と補修整備を計画しました。

当面は、寮生で運営可能な範囲・規模の施設整備を順次行います。

(1) 養鶏施設整備

現状は、養魚池の上に鶏舎を造っています。糞尿は、魚のえさの足しになることから水面に垂れ流しの状態で飼育しています。

近年鶏が増えたことによる池の水質が異状に悪化したため水面への垂れ流しを中止します。

鶏舎床を改良型に改善し鶏糞を容易に収集できる構造とし、定期的集めた鶏糞は、乾燥させ畑の肥料や堆肥の基として有効に使用します。

鶏舎は、鶏卵用とブロイラー用とに分割して設置します。

防護網は、小型の野鳥等が入れないよう小メッシュの金網とし、鳥インフルエンザ対策を講じます。

(2) 養豚施設整備

鶏舎におなじく糞尿は、水面に垂れ流しているため、水質悪化は、さらに拍車を掛け養殖の魚がともすれば、死滅しかねない状況であるため、早急に改善することが必要です。

糞尿は、豚舎の床の改修を施し、池土手のスペースに「自然循環式農業利用浄化装置」を設置し水田の肥料として利用します。

(3) 養魚池水質改善施設整備

糞尿の水面投棄を中止するとかなりの改善は、あるものの、窒素・磷を大量に含んだ河川からの流入があるためさらに改善の必要があります。

このため、水性植物による水質浄化施設を計画設置します。

具体的には、実践の積み重ねが必要なため、限定はできませんが、池に浮島菜園を設置し、毎日副食として炒めものや、煮物として食べている食材（水生植物）を浮島に植え水耕栽培をとおして、窒素・磷を野菜の肥料として吸収させることにより除去します。

この方法は、水質改善に最も相応しい方法で水性小動物もよみがえり水質浄化ができると共に、食料生産としても利用できる方法です。

これにより稚魚のえさとなる水性小動物の繁殖も旺盛となり良好な養魚が期待できます。

(4) 堆肥の自家用生産

鶏糞、「自然循環式農業利用浄化装置」からの肥料原を使って堆肥を作り水田・畑作物の肥料として活用し、有機農法による、安全な作物生産を目指します。

2 生活衛生環境推進事業

生活に密着した衛生推進事業として、寮の便所の補修と共に「自然循環式農業利用浄化装置」を設置し経費の節減と共に農業生産の向上と、地域の衛生環境を改善します。

(1) 学生寮の衛生環境改善事業（17年度一部繰り越し事業）

寮の便所（男女とも）は、経年により地下浸透が緩慢で降雨時期には、逆流もあり溢れ出し、汲み取りもままならない状況です。このため、昨年11月「自然循環式農業利用浄化装置」に改善する工事に着手することとしましたが、付近の地下水が高く着工できない状況から断念しました。今年度4月末から5月上旬頃を目途に現地施工を計画します。

(2) 「自然循環式農業利用浄化装置」普及事業

昨年、「自然循環式農業利用浄化装置」第1号をセーンサイ村にモデルとして設置しました。

稼働も順調で付近の村人も関心を示し、この畑で取れた野菜が好評であることから普及の兆しが見えています。（地域住民に、解りやすい解説で標示した看板の設置をします。）

しかしながら、当面工事には、経費が必要なため、現状では、余裕のある家庭以外の普及は難しいと思われる。

今年は、第1号の稼働状況調査と、施工者の設置指導に当たることとします。

また、クンガムラン村・サンティスク村等、近郊の村に、出向き引き続き普及のためのPR及び生活衛生環境調査を実施します。

{国際交流活動及び国内の福祉活動}

地域の国際化と地球市民教育、ボランティア育成活動として、次の事業を実施します。

- 1 国内協力者への広報及び情報提供のために「シャンティ山口ニュースレター」を発行します。
第50号～55号まで 6回発行予定
- 2 「NGOネットワーク山口」の活動に協力します。
- 3 その他、本会の目的に沿った必要な事業を実施します。

{募金活動}

各種事業を実施するための募金活動を行います。

収支予算

収入の部		支出の部	
1 会費	1,530,000	1 会議費	90,000
2 補助金助成金	100,000	2 事務局費	850,000
3 寄付金	3,900,000	3 事業費	5,468,400
4 諸収入	9,289	4 予備費	91,600
5 繰入金	0	5 繰り出し金	0
合 計	6,500,000	合 計	6,500,000

行事予定

- ・海峡メッセ下関10周年記念「国際交流フェスティバル」

日時・場所 平成18年7月22日(土)～23日(日)・海峡メッセ下関

主催 国際総合センター・(財)山口県国際交流協会

シャンティ山口協力・出展

- ・平成18年度「やまぐちいきいきエコフェア」

日時・場所 平成18年10月14日(土)～15日(日)・きららスポーツ交流公園(阿知須)

主催 (財)山口県ひとづくり財団

シャンティ山口協力・出展

- ・「多文化共生フェスタ」

日時・場所 平成19年1月28日(日)・(財)山口県国際交流協会

主催 (財)山口県国際交流協会

シャンティ山口協力・出展

- ・シャンティ山口 「スタディーツアー」・「ワーキングツアー」計画

- ・平成18年10月16日(月)～11月15日(水)までの間

3チーム構成で、1チーム(出発日が異なります。)5日間～7日間程度のツアーを企画します。

主内容は、山岳少数民族の村訪問・ホームステイ・農作業のお手伝いなども計画します。

- ・平成19年3月初旬から4月下旬の間(3チーム程度に構成します。)

主内容は、シャンティ学生寮「卒業を祝う会」・山岳少数民族の村訪問・ホームステイ・農作業
トイレ造り・竹林整備等

詳細が決まり次第会員宛に計画内容をお知らせし、希望者を募ります。

いずれも経費は、120,000円前後で企画します。

内容の企画・ご希望等「事務局」にお問い合わせください。

おまちしています。